

電通「鬼十訓」

- 一、仕事は自分から「創る」べきで与えられるべきではない
- 二、仕事とは先手先手と、能動的に「働きかけ」ていくことで、受け身でやるものではない
- 三、「大きな仕事」と取り組め、小さな仕事は己を小さくする
- 四、「難しい仕事」を狙え、そしてこれを成し遂げるところに進歩がある
- 五、一度取り組んだら「放すな」目的完遂までは殺されても放すな
- 六、周囲を「引きずり回せ」引きずると、引きずられるのとでは、永い間に天地のひらきが生ずる
- 七、常に「計画」をして、長期に亘る計画をもつておれば、忍耐と工夫と、そして正しい努力と希望が生まれる
- 八、何事にも「自信」をもて。自信がないから君の仕事には迫力も粘りも、そして厚みすらもない
- 九、頭は常に「フル回転」八方に気を配つて、一分のスキもあつてはならない。サービスとは、そのようなものである
- 十、「摩擦を怖れるな」、摩擦は進歩の母、積極の肥料だ、でないと君は卑屈未練的な人間となる

